

●天草市の人口問題 ●空き家の問題 ●日本語学校の設立計画について



益田 政昭
議員

益田 人口の減少は天草市の大きな課題。アマビズによる起業創業、企業誘致、移住定住などで転出人口を抑えているが、出生数を増やす対策も重要。現在、子育て中の保護者の意見、要望は「もう一人子どもを産める」ための環境整備との意見がある。出産祝い金、物品支給、家賃の減額、税の優遇策、一軒家の手当、などの意見をどう考えるか。

健康福祉部長 「天草市子ども・子育て支援事業計画」策定時に、就学前の子どもをお持ちの皆様は、子育てについてのアンケート調査を実施し、アンケート調査でのご意見やご意向を子育て支援の施策に反映させている。保育料の負担軽減、子ども医療費の無料化等経済的支援は重要と認識しているが、子育て環境の整備も重要と考える。今年度「妊娠・出産包括支援事業」に取り組み切れ目のない支援をしていく。現金給付、物品支給は考えていない。

益田 空き家バンクの利用規定、また、利用状況は。地域政策課長 市内に存在する空き家の所有者がこのバンクに登

録。天草島外の方で移住希望者がバンク利用登録をされた場合に利用できる。平成20年度から10年間で390件が登録され、164件が売却や賃貸の契約が成立している。**益田** 子育て世代の空き家利用の要望がある。空き家の利用法を考える機会を設けてはどうか。**地域振興部長** 子育て世代を含め市民の問い合わせも増えている。空き家の所有者が了解すれば移住希望者以外にも不動産会社を通じて紹介したいと考えている。

益田 牛深地区の旧学校跡地利用の日本語学校の設立計画は承知か。この計画の課題と対応策は。

市長 日本語学校の設立については、相談を受け、仮決定を行って、仮決定後、地元説明会を行つたが同意が得られなかったと聞いている。日本語学校設立の経済効果は大きいと考えており、また、牛深地域では水産業の働き手が不足している中、アルバイトで週28時間以内で働いてもらう可能性もある。地元の同意が得られた後、詳細な事業計画、資金計画の見通しが確認できれば、起業創業として支援を行っていききたい。

●本渡学校給食センターについて ●県道本渡五和線の未改良区間について



門口 徹
議員

本渡学校給食センターの現状
門口 本渡学校給食センター施設(昭50築)・設備の現状について。

教育部長 建築基準法で規制対象上「工場」の位置付けで、耐震診断の義務付け対象建築物でなく、一般論として震度5強程度の中規模地震では、損傷や倒壊する恐れはない。調理機器の耐用年数は一般的に8年で、メンテナンス状況や補修部品の供給状況を見て更新している。

門口 学校給食基本計画の進捗状況、また東町のゴルフ練習場用地を候補地との考えはないか。

市長 学校給食センターは都市計画区域内では、「工業地域」「準工業地域」に整備が可能であり、現在も用地選定中である。配送時間の問題や上下水道や電気等のイン



フラ整備済みの土地が望ましく、第2瀬戸大橋建設で県が用地買収する東町のゴルフ練習場用地も候補地の一つとして検討しており、スケジュールの大枠を9月議会までには示したい。

【県道本渡五和線の未改良区間について】

門口 五和町二江地区の未改良区間の整備計画について。

建設部長 道路改良整備が必要であるが、現時点では事業化に至っていない。「天草地域国道道路整備促進期成会(天草地域2市1町で構成)」でも新規路線の最上位と位置付け、県土木部に対し道路改良事業の促進を毎年要望している。

門口 県道本渡五和線に関連し、市道二江町線の車両通行による側溝の騒音問題について。

市長 市内全域でこのような状況の要望もあり、早急に全体の調査を実施し、二江町線のような交通量の多い路線から優先的に対策を実施していく。

●機能的な交通基盤の整備について ●魅力ある地域づくりについて



五通 俊作
議員

【国道の現状と今後の整備について】

五通 天草市内の国道はどれくらいあるか。過去4年間の改良箇所は。また、今後の整備箇所は。

建設部長 熊本県に伺ったところ、天草市管内の国道は3路線で、延長が14.5km、改良区間13.9km、改良率96%。天草管内の県道は27路線で総延長27.8km、改良区間は14.5km、改良率は約52%とのこと。国道389号線下田南工区と国道266号線望薩峠工区において工事が進められている。この2路線については、今年も引き続き工事を進めていくとのこと。



県道については、主要地方道の

牛深天草線や本渡牛深線など12カ所の整備を計画しているとのことであった。本市としては、国道道の早期整備完了に向け、県に対して引き続き強く要望していく。

【県道の傾斜地防止について】

五通 県道35号牛深天草線の危険傾斜地は何箇所くらいあるか。また、対策はどのようにしているか。

建設部長 熊本県に伺ったところ、県道35号線沿いの危険傾斜地については、平成8年度に実施した道路防災点検において8カ所を経過観察箇所としている。しかし、平成8年度の防災点検から20年以上が経過しているため、平成30年度に再点検を行う計画とのこと。

【公共トイレについて】

五通 今後、天草市の公共トイレの改修計画はあるか。

観光文化部長 平成31年度以降の計画については、トイレの水洗化、多目的トイレの整備、洋式トイレへの改修を盛り込んでいきたい。

農業の振興について



前田 正之
議員

前田 農業の現状と課題についてどう認識しているか。

経済部長 農家戸数の減少や平均年齢の上昇等の現状を踏まえ、担い手の確保、集落営農型法人の設立や企業の参入を促すことが喫緊の課題であると認識している。

前田 人・農地プランの策定実績と集落営農法人、農業法人の設立状況についてどうなっているか。

経済部長 現在29のプランがあり、12の集落営農法人を含む46の農業法人がある。今後7つの地域で法人化が検討されており、認定農業者とあわせて制度上いろいろなメリットがある。

前田 農地基盤整備の推進、整備率と事業実績、新規採択について。

経済部長 基盤整備率43.3%、新市合併時から45.7haの面積が増加している。2地区の新規事業、3地区の事業採択希望がある。**前田** 農業振興の主な諸施策は。**経済部長** 新規就農、親元就農給付金制度、セカンドライフチャレンジャー事業、攻めの農業チャレンジャー事業、集落営農法人経営安定化事

業などがある。

前田 天草市の農業の将来について、市長の思い、考えを問う。

市長 農業を将来維持発展させていくために、後期基本計画の体系として4つの方針で取り組んでいく。①持続可能な地域農業の推進、②農地基盤整備率の向上、農業用施設の長寿命化、③農村環境の保全、活用と集落機能の維持、④手取収入を増やす稼げる農産物づくりを進める。

前田 優良農地が確保され、農家が経営が安定し、持続可能な農業・農村文化が将来にわたり継承され、自助、共助の、地域の強いつながりが維持できる農業の振興を要望する。

